

3月14日

テーマ：義人の祈りは大きな力

聖書箇所：ヤコブの手紙5章16節

◆今日のみことば

ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。

ヤコブの手紙 5章16節

◆メッセージ

義人って誰のことだと思いますか？ 義人の意味は、「正しい人。間違いを犯さない人」のこと。とすると『私は義人です。』と言える人なんているのでしょうか？いないですね。聖書には、「義人はいない。ひとりもない。」（ローマ3章10節）と書いてあります。すべての人が生まれながらに罪人です。

しかし、自分の罪を隠さないで、イエスさまに正直にお話しした人は、神さまの恵みによって「義と認められる」とローマ3章24節に書いてあります。ということは、ここで言っている義人とは「自分の罪を言い表し、イエスさまを信じている人」のことです。つまり、クリスチャンのことです！ クリスチャンは、罪を告白してイエスさまに罪を赦していただき、義と認められています。だから、私たちクリスチャンの祈りには、大きな力があると聖書は言っています。そのために必要なことは、罪を認めて祈ることです。

皆さんはイエスさまに対して、自分の罪を隠していませんか？ 例えば、病気にかかっている人が病気であることを隠していたらどうでしょう？治療してもらおうこともできず、病気がもっとひどくなります。病気にかかったのならば正直に病気を認め、お医者さんに治療してもらわなければいけません。私たちの罪をいやしてくださる方に、素直



に祈ることが大切なのです。そして、神さまは、一人では弱い私たちに、祈りの仲間を与えてくださっています。イエスさまを信じている人の祈りには力があります。その祈りの力は、神さまが与えてくださったものです。その神さまの力を信じ、自分だけで抱え込まず、お互いのために祈りあっていきましょう。祈りには私たちの想像する以上の力があります。神さまが大いに働いてくださいます。日々お互いのために祈りあって、祈りの力を味わっていきましょう。

◆お祈り

「天のお父さま。自分の罪に気づいたら隠さず素直に告白し合い、互いに祈り合う心をお与えください。お互い罪を赦され義と認められた者同士として、裁きあうのではなく、祈りあうこと

ができるようにしてください。」

(原市場聖書教会牧師 若村和仁)